

令和6年度 日本コンクリート工学会北海道支部功績賞

受賞者の選考結果報告

選考経過

日本コンクリート工学会北海道支部功績賞規定に基づいて、令和7年1月20日に候補者の推薦を締め切り2名の推薦があった。これを受け北海道支部功績賞選考委員会において慎重に選考を行い、令和7年3月5日開催の選考委員会にて、推薦のあった2名を受賞候補者として執行委員会に推薦することを決定した。令和7年4月11日開催の執行委員会における審議の結果、2名の候補者の受賞が承認された。受賞者氏名と推薦理由を以下に記す。

功績賞受賞者

上田 多門 (70歳)

現職：北海道大学名誉教授、深圳大学土木交通工学部特聘教授

1979年3月 東京大学大学院 土木工学専攻修了

受賞者は、1991年から2019年の間、北海道大学に教員として所属し、コンクリート工学に関する教育・研究を行い、道内に多数の技術者を排出したほか、コンクリート構造物の凍害が構造性能に与える影響の解明や、様々な補強工法に関する多くの研究成果を挙げ、北海道に資する技術の発展に寄与している。また、支部執行委員として活発に運営に携わり、コンクリート工学年次大会の実行委員会や多くの研究委員会でも委員長あるいは委員として活躍している。以上より、受賞者は北海道におけるコンクリート工学の発展に貢献した。

溝口 光男 (66歳)

現職：室蘭工業大学名誉教授

1983年3月 室蘭工業大学大学院 工学研究科建築工学専攻修了

受賞者は、1983年から2024年の間、室蘭工業大学に教員として所属し、主に鉄筋コンクリート部材の終局せん断強度について研究し、道内に多数の技術者を排出したほか、多くの道内企業と共同研究を実施してきた。また、日本コンクリート工学会北海道支部では、支部執行委員や支部幹事を務めるほか、2014年からは支部長として支部の運営を牽引した。支部長退任後も、検査役、優秀学生賞選考委員会委員長、支部功績賞選考委員会委員長、コンクリート工学年次大会の実行委員など、支部の運営に多大に寄与している。以上より、受賞者は北海道におけるコンクリート工学の発展に貢献した。

日本コンクリート工学会北海道支部功績賞選考委員会

委員長	井上 雅弘	株式会社社長
委員	今村 晃久	株式会社開発工営社
委員	定木 紳	清水建設株式会社
委員	高瀬 裕也	室蘭工業大学大学院
委員	谷口 円	室蘭工業大学大学院
委員	渡辺 暁央	苫小牧工業高等専門学校